

## 第41回インナーゼミナール大会

### 研究計画書

<b>ゼミ名</b>	中島ゼミⅡ	<b>チーム名</b>	何かしらのインパクト		
<b>タイトル</b>	効率のよい単位の取り方 ～時間のマネジメント～				
<b>テーマ群</b>	a) 理論・情報				
<b>メンバー</b>	岩崎 賢太 永井 愛子	片岡 孝介 春口 志栞	川井 祥太 古谷 美咲	坂口 凌 槇田 智史	笹川 菜美
<b>研究計画内容</b>	<p>近年、再び日本で注目を集め、私たちのゼミでも取り上げられることの多いドラッカーは、度々、「時間」という資源の稀少性に言及しており、そのマネジメントの必要性を述べている。このドラッカーの思想から、私たちは学生生活で無駄にしてしまう稀少な資源が、「時間」を中心に数多く存在することに気付かされる。</p> <p>甲南大学に進学した私たちは、授業や課外活動の「時間」的なコストだけでなく、授業料という「金銭」的なコストをも支払っている。私たちが学生生活の間に支払うこうした様々なコストのうち、卒業単位数を満たすために最低限必要とされる時間的なコストや定額的な授業料による金銭的なコストは、どれだけ講義を受けるか、課外活動をどの程度行うか、ということに依存しない固定的なコストといえる。本研究は、学生生活を送るうえで支払うコストのうち、学生の個別事情に依存しない固定コストとして、「時間」と「金銭」の2つに着目し、効率的な単位取得の方法を経済学的に考察する。</p> <p>「時間」の固定コストに関しては、卒業単位数を過不足なく満たすために必要とされる時間的なコストに着目しながら、効率的に4年間を使うための方途を考察する。「金銭」の固定コストに関しては、定額料金である学費について、取得単位数の増加による講義単価の減少から金銭的なコストをより効率的にマネジメントする方法を考察する。</p> <p>なお、本研究では、経済学部生に対してアンケート調査を実施することで、課外活動やアルバイトが学生の単位取得に与える影響を明らかにしながら、学生生活を効率的にマネジメントするための方法を考察していく。</p>				